



報告する大門参院議員

大門参議院議員を迎えて学習会 60人参加で消費税をなくす板橋の会と各界連絡会

岸田首相の新しい資本主義は消費税増税路線が準備され、インボイス導入で、日本の中小・零細企業が淘汰される、23年10月からの実施に向けて反対運動を展開すること。特に夏の参議院選挙で自公政権を過半数以下に追い込むことが決定的に大事になる。総選挙で野党共闘の政策の中に消費税減税が入ったが、これが自民党議員の中に「地元では減税が強く求められている」と世論が高まっていることであり、さらに運動を強めようと報告されました。

岸田首相の新しい資本主義は消費税増税路線が準備され、インボイス導入で、日本の中小・零細企業が淘汰される、23年10月からの実施に向けて反対運動を展開すること。特に夏の参議院選挙で自公政権を過半数以下に追い込むことが決定的に大事になる。総選挙で野党共闘の政策の中に消費税減税が入ったが、これが自民党議員の中に「地元では減税が強く求められている」と世論が高まっていることであり、さらに運動を強めようと報告されました。

岸田首相の新しい資本主義は消費税増税路線が準備され、インボイス導入で、日本の中小・零細企業が淘汰される、23年10月からの実施に向けて反対運動を展開すること。特に夏の参議院選挙で自公政権を過半数以下に追い込むことが決定的に大事になる。総選挙で野党共闘の政策の中に消費税減税が入ったが、これが自民党議員の中に「地元では減税が強く求められている」と世論が高まっていることであり、さらに運動を強めようと報告されました。



江東の会の学習会

参院選勝利で増税に止めを!

岸田首相が打ち出した「新しい資本主義、新自由主義」で実際に進めているのは20万床のベッド削減と公立・公的病院の統廃合など社会保障の削減、労働者派遣法の改悪で労働法制に規制緩和路線を見直さず、富裕層優遇の所得課税もそのまま、庶民の悲願である消費税減税は「福祉の財源である」の一点張りで消費税減税を拒否しつづけています。弱肉強食の新自由主義の継続・強化そのものです。「森友・加計・さくら」の疑惑、学術会議へ人事介入、沖縄の辺野古基地推進、敵基地攻撃能力の検討に入り、憲法改正推進会議を實現会議に変え、右翼の「日本会議」のメンバーを本部長に据えるなど、安倍・菅政権以上に危険な姿を表しています。



12月24日導入33年目の怒りの行動

先の総選挙では野党共闘の政策の中に「消費税減税」が入りました。維新も国民の党も選挙政策では消費税減税を主張しました。議員の中では消費税減税が多数派に なっています。我々の32年間の不屈の粘り強い活動が増税勢力を追い込んだのです。減税・廃止へ「消費税を下げてください」という世論をさらに大きくして攻め込むこと、来るべき参議院選挙で増税に止めを！を合言葉に全力をあげましょう。



「NO消費税」の拡大が始まっています。大田六郷の会が10部、東京土建港支部が1部、事務局が減税防止含め3部の拡大です。六郷の会の10部拡大の経験は12月に共産党後援会の集いがあり、発言の時間を頂きました。「NO消費税」の冊子を見せながら、皆さんに「是非、力をかけて下さい」と言って六郷の会の活動内容を報告し、今では、消費税減税・廃止が全野党の共通政策にまでなっています。このように訴えをして、その場で5部の申し込みと高齢の女性から「頑張ってください」と1万円の募金も頂きました。その後、別の会議の時に、この事を報告をして、合計10部拡大となりました。

減税・廃止へ追い込んできた、さらに前進を!

「NO消費税」読者13人拡大

六郷の会・港土建・事務局などで

導入から33年目 減税で暮らしと営業を守りましょう

最大の景気対策は、消費税を5%に下げること 江東富岡八幡宮の初詣宣伝

江東なくす会と各界連絡会

1月4日、江東区富岡八幡宮、例年恒例の初詣客に新年のあいさつで消費税減税を訴えました。消費税をなくす東京の会も参加しました。

景気を奉る神社だけに黒スーツを着た会社員風の人が多いのが特徴ですが、下町の業者・庶民の方も少なくありません。コロナで傷ついた景気



江東区富岡八幡宮の初詣宣伝

回復のために神頼みしたくなる人が次々と訪れていました。消費税が導入されて33年目を迎えた、日本の景気は発展が止まった、働く人の賃金は先進国の中で唯一後退、景気回復への道は一部の人の

「消費税は困っている。営業がいつまで続けられるかわからない不安だ、5%に減らせるなら助かる」、「軍事情報が6兆円も、びっくり!、消費税が軍事費の拡大になるなんて許せない」、「福祉のためって云っていいではないか、福祉は一つも良くなっていない、特に年金を下げるのは我慢できない」など等、怒りが次々寄せられ、署名されていきました。

また、「この署名で力になるのかしら」と疑問も出され、「昨年1150万人の署名で、いま減税は国会では多数派になっている」と対話になりました。

コロナを乗り越えて宣伝を再開 消費税をなくす八王子の会

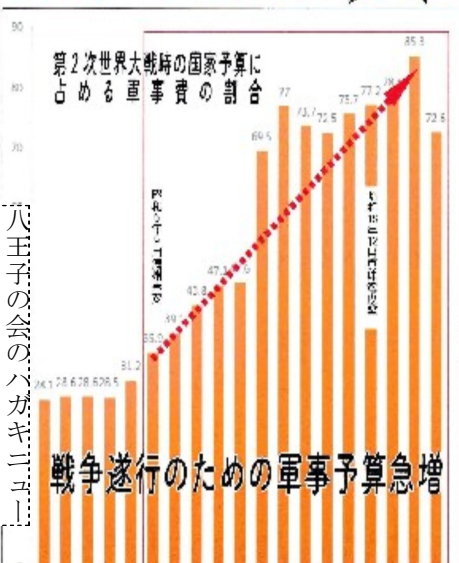
コロナ禍で長い間宣伝を控えてきた「消費税をなくす八王子の会」は昨年10月から活動を再開、11月12月と連続して宣伝・署名活動を展開してきました。12月は「消費税5%減税」と併



八王子駅前宣伝・名行動

せて新婦人の会が5人参加されて「改憲発議反対」の署名」と合わせて取り組みました。岸田政権誕生で政治がどうなるか不安で訴えが注目されましたが署名板を持つ人と対話が弾み「首が代わって良くなると思わな

消費税→憲法変えたら→戦争税



12月24日1:30~八王子駅北口で消費税減税と憲法改悪反対の宣伝を行います。みなさまのご協力をお願いします。消費税をなくす八王子の会

消費税減税が政治の争点に 浮上した画期的意義

昨年の総選挙は、「消費税5%への減税」が野党共通政策に掲げられました。長年にわたって消費税廃止や減税のために草の根で活動してきた「消費税をなくす会」にとっては画期的意義のある選挙でした。

市民連合に関わった税理士の話では、野党各党の勉強会に呼ばれて資料提供や意見交換を進めてきたそうですから、私たちの草の根の運動が、現実政治を動かす、一歩手前まで進んできたのです。

インボイス制度による「納税環境の整備」

「政治闘争の弁証法」という表現で選挙結果のとらえ方が論じられていますが、消費税をめくっても、自公政権は、新たな攻撃を強めています。インボイス制度の導入による「納税

環境の整備」といふ攻撃です。

振り返って考えてみると、一九八七年の中曽根売上税は「インボイス方式」でした。商店や大規模小売店などの「列島騒然」の反対運動で中止を余儀なくされました。

そこで帳簿方式や簡易課税制度などを取り入れて「竹下消費税」に衣替

消費税5%減税は草の根の運動から 消費税をなくす東京の会常任世話人 慶野靖幸

えして消費税が導入されたのです。したがって、インボイス制度という何か新しい面倒な制度が導入されるような印象ですが、これは大型間接税の持つ逆進性や国民いじめの本質をあからさまな形にする問題なのです。

優しく強い経済

新自由主義を転換して、どのような社会を展望するかが問われます。新自由主義が作った社会は、労働者の切り捨て、社会保障の切り捨て、

消費税増税と富裕層・大企業減税の悪政がすすめられました。こうして

いまの日本は、「自己責任と自助の社会」「成長できない国」「危機に弱い国」「競争力の弱い国」になってしまいました。

とりわけ「成長できない国」になった根源には賃金の上がらない異常さがあります。一人当たりの実質賃金では一九九六年と比較して二〇二〇

年は62万円も減少しているのです。新自由主義の悪政から転換し「やさしく強い経済」を実現するには、消費税の減税と不公平税制の是正が重要な課題です。

消費税減税と財源

消費税の減税を実現するには財源論が必要です。

●不公平な税制をただす会の試算では、所得税と法人税の累進課税強化

消費税減税と財源

が特徴で47兆円以上の財源ができる

●日本共産党の新経済提言(二〇二一年九月発表)ではコロナ収束後の恒常的財源19兆円は、法人税率を28%に戻すことで8兆円、富裕層への税負担の見直しで3兆円、軍事費や大型開発の削減で5兆円としていま

す。

参院選に向けて草の根の運動を

7月に行われる参院選は1人区を中心とした野党共闘の真価が問われます。東京段階では、都議選、総選挙を通じて野党共闘の成果が結実し、立憲民主党東京都連と日本共産党東京都委員会共闘強化の話し合いが進められています。

「消費税減税」を旗印にした市民と野党の共闘のためには、草の根の活動と世論が欠かせない年になります。

CHIIHIRO CALENDAR
いわさきちひろカレンダー
世界中のこども みんなに
平和とあわせを
このいわさきちひろのねがいをこめて、いわさきちひろカレンダーは、手から手へ、心から心へ、日本中にひろがっています。
いわさきちひろ作品普及会

東京上建一般労働組合渋谷支部
執行委員長 伊藤勝伸
渋谷区幡ヶ谷2の18の6
〒166 0072
Tel 〇三六三〇四二二一五

【お詫び】新年号名刺年賀広告の一部に脱字がありました。訂正し再掲載してお詫び申し上げます。
【お礼】新年号の名刺年賀広告の掲載ありがとうございました。おかげさまで「NO消費税」東京版の続刊の発行が可能になりました。